全校生徒を対象とした放課後活動「ランゲージカフェ」を開催　ワークショップや地域の方・外国人との交流イベントを実施

岡山県立津山商業高等学校　TSUSHO Cafe

活動の目的

「ランゲージカフェ」において、積極的に地域の外国人や異世代の方と交流し、コミュニケーション力・プレゼンテーション力や国際感覚を身に付ける。異世代間交流や多様な職種の人々との「異文化」交流、表現力向上のためのワークショップ実施で、「英語を使う機会の提供」だけに終わらない、コミュニケーション能力育成の場とする。

活動の内容及び経過

「A　地域の方と交流し、地元の魅力を知る！」

●岡山県内の大学への留学生津山観光案内の事前学習として、「津山観光ボランティアガイドの会」の方々に、衆楽園、城東地区を案内していただいた。

●津山の歴史、文化を学び、「美作の国つやま検定」を受験した。

●3月本校に隣接する衆楽園の魅力発信のため、入口で来園者に声を掛けてボランティアガイドを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

「B　外国人と交流し、異文化を知る！」

●12月、岡山大学の留学生を迎え津山の観光案内を行う予定であったが、参加申し込みが少数であったので中止した。1月に岡山商科大学の留学生を迎え津山の観光案内を行った。ツアー企画、参加者募集チラシの、メールでのやりとり、当日の運営を行った。

「C　コミュニケーション能力を鍛える！」

●7月、不等辺演劇倶楽部代表の林成彦先生によるグループエンカウンターのワークショップを行った。演劇的手法による仲間づくり、表現法の習得を行った。

活動の成果・効果

【衆楽園観光案内】

●3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【岡山商科大学留学生観光案内感想】

●積極的に質問したり、話したりする力。（1年女）何か困っていることがないか、周りをよく注意しておく力。（1年女）　なれない日本語を話しているときに、集中して理解しようとする力。（1年女）以上の力がついたと生徒自身が気付いている。津山の観光地を紹介しようとしても、多言語の標識が少なかったり、外国人だけでなく、国内の旅行者にとっても不便なところが見つかり、これらの解消に向けて自分たちでできることは何か、考える機会となった。

【コミュニケーションワークショップ感想】

場面を想像して会話をしたり、話を広げたりする力がついた。（1年男子）

自分の思ったことを気楽に話せ、相手の言うことを集中して聞くことを学べた。（2年女子）

今後の課題と問題点

昨年に比べ、活動人数を増やすことは、取り組みへの参加希望者が増えたことで成果が上がったように思う。しかし、校外の協力者を得ることに苦労した。本校の特殊事情かもわからないが、日程の調整がうまくいかなかった。来年度は他校の教員も運営メンバーに加えることで、日程、参加者の調整をうまく進めたい。

行事ごとで希望生徒を募りながら実施してきたため人数は多くはないが、参加した生徒は主体的に・積極的に活動を行い、各自の目標は達成できていた。

●代表者：石下義久　●所在地：津山市山北
●TEL：0868-22-2421　●E-MAIL：tusho@pref.okayama.jp
●URL：http://www.tusho.okayama-c.ed.jp/
●設立年：2014年　●メンバー数：471名